

令和4年1月15日

門信徒 各位

潮見寺門信徒会 会長 平国寛己

潮見寺 2-3月のご案内

寒い日が続きますが、皆様方にはお変わりなくご健勝のことと存じます。
さて、c

1. 春の永代経法要・釈迦涅槃会法要

予定：令和4年2月12日（土）午後1時から

ご講師：長倉伯博先生（鹿児島組善福寺住職）

→通常の形態での法要は中止し、密を避けるため以下の形態で勤修致します。

2月12日（土）午後1時から讃仏偈のお勤め（5分）のみ行い、いつもの法要懇志の受付と御齋・長倉先生のご法話のDVDをお渡しします。

尚、長倉先生のご法話は、予定を合わせて別途録画させていただきます。準備出来次第（2月10日頃？）ホームページ（下参照）からもお覧頂けます。

2. 春の彼岸法要

予定：令和4年3月19日（土）午後1時から（変更の際はご連絡します）

ご講師：副直子先生（祁答院組 法城寺住職）

おつとめ：仏説阿弥陀経

→通常の形態での法要を予定しますが、コロナの状況で変更の可能性はあります。

3. 2-3月の学びの会

2月10日は中止、3月10日の開催については、連絡網を頂いている方には2月末までにご連絡致します。

4. 各ご家庭のご法事

通常通り、勤修致しますが、感冒症状のある方のお参りは禁止します。また、大勢が集まっての飲食はなるべくお控えください。

◇ “月のことば”を配布します。

◇ ホームページ：アドレス (<https://www.choukenji.com>) や右のQRコードを入力いただくか、「西城山潮見寺」で検索頂けば入れます。秋のお彼岸（亀田先生）・報恩講（藤先生）・御正忌報恩講（住職）等のご法話や、リンク先からは他のご法話などお覧頂けます。



伝道

《食前のことば》

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、
このごちそうをめぐまれました。
深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

《食後のことば》

尊いおめぐみをおいしくいただき、
ますます御恩報謝につとめます。
おかげで、ごちそうさまでした。

- 蓮如上人は、お食事を召しあがるときは、まず合掌されて、「阿弥陀如来と親鸞聖人のおはたらきにより、着物を着させていただき、食事をさせていただきます」と仰せになりました。（「蓮如上人御一代記聞書」）
- 蓮如上人は、「食事をいただくときにも、阿弥陀如来・親鸞聖人のご恩によって恵まれたものであることを忘れたことはない」と仰せになりました。また、「ただ一口食べても、そのことが思いおこされてくるのである」とも仰せになりました。（「同」）
- 蓮如上人はお食事のお膳をご覧になっても、「普通はいただくことのできない、仏より賜ったご飯を口にするのだとありがたく思う」と仰せになりました。それで、食べ物をすぐに口にされることもなく、「ただ仏のご恩の尊いことばかりを思う」とも仰せになりました。（「同」）

ともすれば 二度のお礼も欠くるなり 三度の箸は忘れざる身も 小野逸子

一昔前は、朝夕お内仏にお参りをしなければ、ご飯が食べさせて貰えなかったご家庭も少なからずあったかと思えます。この文の「三度の箸」とは、一日に三回食事をする事です。一日に三回食事をする事が楽しみで待ち遠しいが、朝晩の仏前での二度のお勤めが難しいという、作者の自己告白ではなかったかと思えます？

身体は私のものではないというのが仏教の精神です。身体だけでなく、心も私のものではありません。この心も身も全部、如来さまからのいただきもので、如来さまのもので。だから、この命は私の中で動いているけれども、私の所有物ではありません。たまわった命です。

この私から、一枚一枚“おかげさま”を剥いでいって残るものは**無・空**。何も残りません。おかげさまが集まって“私”になっていて、“私”が“私”と思っているにすぎません。“私”が“私”と思っている私の中身は、すべて“おかげさま”で出来ています。

人間成就の道は、教えに遇って「あらゆるものに支えられて生かされて生きる」ことに目覚めていくことです。私を支えるものに対する感謝とよろこびがあります。